

# 南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 7年 11月		工事概要  特定鉱害復旧（樅木沢地区）工事	土工 V=45m <sup>3</sup>	
契約番号	2025000858			充填工 V=7m <sup>3</sup>	
路線名				仮設工 N-1式	
工事等名					
工事等場所	南相馬市 鹿島区浮田字樅木沢 地内				
総工事費	当初請負		仕様概要  1. 設計図書及び標準仕様書に準ずること 2. 詳細は監督員の指示によること	1. 設計図書及び標準仕様書に準ずること	
	当初設計			2. 詳細は監督員の指示によること	
	変更請負				
	変更設計				

## 工事費総括表

費目	金額	工事価格	消費税相当額	摘要
本工事費				
附帯工事費				
測量及び試験費				
用地費及び補償費				
機械器具費				
營繕費				
工事雜費				
工事費				
事務費				
事業費				

## 工事費内訳書

契約番号( 2025000858 )

## 特定鉱害復旧(樅木沢地区)工事

種別	金額(円)	備考
土工		
仮設工		
仮設材運搬費		
直接工事費		
諸経費		
工事費計(税抜き)		

※諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で( )の中に金額を記入すること。

## 住 所

### 業者名

代表者名

印

# 最低制限価格の設定(算定)について

## 特定鉱害復旧(樅木沢地区)工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には ✓ のチェック表示をしております。

### 工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

#### ■ 最低制限価格(P)の設定範囲：予定価格(入札書比較価格)の75%～92%+消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

### 算定式

#### 一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費×97%+共通仮設費×90%+現場管理費×90%+一般管理費×68%

#### 建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費×97%+共通仮設費×90%+現場管理費×90%+一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

#### 補装工事

直接工事費×97%+共通仮設費×90%+現場管理費×90%+一般管理費×68%

#### 水道工事

直接工事費×97%+共通仮設費×90%+現場管理費×90%+一般管理費×68%

#### 暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97%+共通仮設費×90%+現場管理費×90%+一般管理費×68%

#### 電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費+直接工事費)×97%+(共通仮設費+間接労務費)×90%+(現場管理費+工場管理費+機器間接費)×90%+一般管理費(製作分+据付分)×68%

#### 機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費+直接工事費)×97%+(共通仮設費+間接労務費)×90%+(現場管理費+工場管理費+据付間接費+設計技術費)×90%+一般管理費×68%

※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

# 南相馬市鹿島区

この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1  
地図を複製したものである。(測量番号) 紙617 東緯 第261号

## 位置図



# 総括情報表

頁0-0001

事務所	D1 南相馬市	
設計書名	実施設計書 当初 0000000000	
変更回数	0	
事業名		
適用単価区分	1 実施単価	
適用単価地区	71 S (相双 1) 地区	
単価適用日	00-07.11.33(0)	
諸経費体系	1 土木工事	
ファイル名	特定鉱害復旧（樅木沢地区）0000000003当初	
	当世代	前世代
前払率	40	
諸経費工種	09 公園	
冬期歩掛補正	00 冬期割増なし	
契約保証補正	01 金銭的保証	
施工地域補正	00 補正なし	
現場環境改善費	00 必要無し	
週休二日補正	02 完全週休2日	

## 工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計1
	3	作業日数集計2
	4	作業日数集計3
	5	作業日数集計4
	6	作業日数集計5

00000000000

福 島 県

金抜き

# 本工事費内訳表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
基盤整備					Y100V004951
土工					Y2384
地盤陥没復旧工					Y320B000046
掘削					Y4161
掘削 土砂 小規模(標準)	45.082	m3			SPA101 00 施工 第0-0001号表
土砂等運搬 標準 パッカ	45.082	m3			SPA105 00 施工 第0-0002号表
盛土(流用土)		m3			Y4403002181
人力土工 砂・砂質土 埋戻し	49.240	m3			SQ445 * 00
砂 ※手入力単価 【施工P用】	8.67	m3			T8302 00
購入土 良質土(ほぐした土量)	8.670	m3			T8350 00
安定処理 パッカ 構造物基礎	23.04	m2			SPA281 00 施工 第0-0003号表

00000000000

福 島 県

金抜き

# 本工事費内訳表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤工					Y4268
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚150mm 1層施工	23.00	m <sup>2</sup>			SPD006 00 施工 第0-0004号表
表層		m <sup>2</sup>			Y443B001594
表層(歩道部) 1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚50mm	23.00	m <sup>2</sup>			SPD027 00 施工 第0-0005号表
充填工					Y3008
中詰充填		m <sup>3</sup>			Y446A000901
コンクリート削孔(さく岩機) 200mm以上300mm未満	4	孔			SPA803 00 施工 第0-0006号表
流動化処理土製造 一軸圧縮強度300kN/m <sup>2</sup> 以上	7.910	m <sup>3</sup>			W0001 1
流動化処理土運搬 パキューム車	1	回			W0002 1
流動化処理土製造諸経費	1	式			W0003 1
直接工事費					
共通仮設費(率)		式			Z0009

## 本工事費内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費		式			
工事原価					
一般管理費		式			
工事価格					
工事価格 (まるめ)					
消費税等相当額		式			

00000000000

福 島 県

金抜き

# 附 带 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	单 值	金 额	備 考
附帯工事費					X2000
仮設工					Y100U007138
仮設工					Y2138007139
土留・仮縫切工					Y324U007176
軽量鋼矢板		枚			Y44B2007182
バイプロハンマ施工による鋼矢板打込み 陸上施工 電動式 60kW	64	枚・本		S5500 00	施工 第0-0007号表
バイプロハンマ施工による鋼矢板引抜き 陸上施工 電動式 60kW	64	枚・本		S5500 00	施工 第0-0009号表
鋼矢板(軽量矢板) 軽量型(1・2・3型) 1~90日	5	t・日		K2101 00	
H形鋼 200型(49.9kg/m) 1~90日	5	t・日		K2201 00	
敷鉄板(鋼板) 22×1524×6096 (1604kg/枚) 1~90日	5	枚・日		K2440 00	
敷鉄板設置工	38.000	m <sup>2</sup>		S5730 00	施工 第0-0010号表
敷鉄板撤去工	38.000	m <sup>2</sup>		S5730 00	施工 第0-0012号表

00000000000

福 島 県

**金抜き**

## 附 帯 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水替工					Y324V007206
ポンプ排水		日			Y44B1007207
ポンプ運転工 作業時排水 発動発電機 ポンプ台数 1台	60	日			SG080 00 施工 第0-0013号表
ポンプ据付撤去工	1	箇所			S5621 00 施工 第0-0014号表
六価クロム溶出試験 環境庁告示46号試験(諸経費含む)	1	試料			T9930 00
雜工					Y4225
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	19.2	m			SPD321 00 施工 第0-0016号表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	23.00	m <sup>2</sup>			SPD311 00 施工 第0-0017号表
搬運搬 舗装版破碎 機械積込(小規模土工)	1.15	m <sup>3</sup>			SPA961 00 施工 第0-0018号表
雜工					Y4225
*調整データ*		調整式			#0040 A=1, B=1, C=5
産廃処分費 収集運搬・処分費	1	式			W0007 1

# 附 帯 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	单 価	金 額	備 考
直接工事費					
運搬費		式			Z0004
仮設材運搬費		式			Y2Y03007336
仮設材の運搬費 運搬質量 12t 運搬距離（片道）80km	1	式			S0070 00 施工 第0-0019号表
仮設材の運搬費 運搬質量 12t 運搬距離（片道）80km	1	式			S0070 00 施工 第0-0019号表
仮設材等の積込み、取卸し費 積込み取卸し（往復分）	12.0	t			S0072 00 施工 第0-0020号表
共通仮設費（率）		式			Z0009
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費		式			
工事原価					
一般管理費		式			

00000000000

福 島 県

金抜き

## 附 帯 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格					
工事価格 (まるめ)					
消費税等相当額		式			
工事費計					

00000000000

福 島 県

金抜き

### 施工パッケージ内訳表

頁0-0009

標準單箇：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

### 市場單價構成比：

0000000000

福島県

金抜き

施工パッケージ内訳表

貢0-0010

標準単価 :

機械構成比 :

労務構成比 :

材料構成比 :

市場単価構成比 :

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>土砂等運搬</b>			施工 第0-0002号表	
SPA105 標準 標準単価 : 1,808.9	パック材 44.67%	労務構成比 : 40.44%	材料構成比 : 14.89% 市場単価構成比 : 0.00%	1 m <sup>3</sup>
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		44.67%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.793]		40.44%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (バトロール給油)		14.89%	TPT0250 軽油 1.、2号 バトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 標準 B=3 パック材 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D=1 D10区間なし E=22 10.0km以下				
F=1 土木工事標準積算基準 II-1-②-13				

00000000000

福 島 県

金抜き

## 施工パッケージ内訳表

頁0-0011

標準単価：

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>安定処理</b> SPA281 バックホウ 標準単価： 2,954.2 機械構成比：	構造物基礎 7.48%		施工 第0-0003号表 1	m2 0.00%
K9205 バックホウ [クローラ型・クレーン機能付] 2.9t 吊 山積0.8m3 (平積0.6m3)		6.70%	TPK9205 バックホウ [クローラ型・クレーン付] 貨料	
K2601 振動ローラ (ハンドガイド式) 0.6-0.7t		0.78%	TPKQ806 振動ローラ [ハンドガイド式] 貨料	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		14.21%	TPR0010 土木一般世話役	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		13.21%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0020 特殊作業員 [0.769]		12.94%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.828]		11.61%	TPR0030 普通作業員	
T0068 セメント系固化材 一般軟弱土用 フレコン		34.47%	TPTKA54 固化材 セメント系 特殊土用 フレコン	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		6.08%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=2 B=2 C=4 D=5 F=1 バックホウ 構造物基礎 1mを超える2m以下 固化材100m2当たり使用量(t/100m2) セメント系固化材(一般軟弱土用)フレコン				

## 施工パッケージ内訳表

頁0-0012

### 標準単価：

### 機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

### 市場単価構成比：

0000000000

福島県

金抜き

## 施工パッケージ内訳表

頁0-0013

標準単価 :

機械構成比 :

労務構成比 :

材料構成比 :

市場単価構成比 :

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>下層路盤(歩道部)</b> SPD006 全仕上り厚150mm 標準単価 : 857.31 機械構成比 :	1層施工 5.00% 労務構成比 : 75.15% 材料構成比 : 19.85%		施工 第0-0004号表 1 市場単価構成比 : 0.00%	m2
MA13E 小型バックホウ(クローラ型)後方超小旋回 超低騒音・排ガス3次		2.99%	TPMA13E 小型バックホウ(クローラ型)後方超小旋回 超低騒音・排ガス3次	
K2610 振動ローラ(舗装用・搭乗式コンバインド型) 3-4 t		1.78%	TPK2610 振動ローラ【搭乗式・コンバインド型】賃料	
R0120 運転手(特殊) [0.778]		27.03%	TPR0120 運転手(特殊)	
R0020 特殊作業員 [0.769]		15.84%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.828]		15.70%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		13.01%	TPR0010 土木一般世話役	
T8454 再生骨材(骨材)クラッシャラン RC-40		17.77%	TPT8454 再生クラッシャラン RC-40	
T0250 軽油 ミニローリー(パトロール給油)		1.99%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=150 全仕上り厚(mm) B=1 1層施工 D=2 再生クラッシャラン RC-40 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 IV-1-①-5				

00000000000

福 島 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0014

標準単価 :

機械構成比 :

労務構成比 :

材料構成比 :

市場単価構成比 :

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>表層(歩道部)</b> SPD027 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 標準単価 : 2,307.5 機械構成比 :	平均仕上り厚50mm 0.45% 労務構成比 : 50.76%		施工 第0 -0005号表 1 材料構成比 : 48.79% 市場単価構成比 : 0.00%	m2
MC246 振動ローラ [舗装用・ハンドガイド式]		0.30%	TPMC246 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]	
MC274 振動コンパクタ [前進型]		0.08%	TPMC274 振動コンパクタ [前進型]	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.69%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.828]		17.61%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		5.37%	TPR0010 土木一般世話役	
T8415 再生材アスファルト合材 密粒度(20) 最大粒径20mm		43.01%	TPT8420 再生アスファルト混合物 密粒度(13)	
T0211 アスファルト乳剤 PK-3プライム用、PK-4タック用		5.62%	TPT0211 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.10%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		0.04%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

00000000000

福 島 県

金抜き

## 施工パッケージ内訳表

頁0-0015

### 標準單據：

### 機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

#### 市場単価構成比：

0000000000

福島県

金抜考

施工パッケージ内訳表

頁0-0016

標準単価：

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート削孔 (さく岩機) SPA803 200mm以上300mm未満 標準単価： 1,235.7			施工 第0-0006号表 1	孔 0.00%
K0504 空気圧縮機 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 3.5～3.7m <sup>3</sup> /min		3.02%	TPK0504 空気圧縮機〔可搬式・エンジン〕賃料	
MC041 さく岩機 [ハンドドリル (空圧式)]		1.40%	TPMC041 さく岩機 [ハンドドリル (空圧式)]	
R0020 特殊作業員 [0.769]		57.29%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.828]		13.56%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		8.78%	TPR0010 土木一般世話役	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		4.46%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=2 B=1 200mm以上300mm未満 土木工事標準積算基準 II-2-⑩-3				

00000000000

福 島 県

金抜き

# 施工 内 訳 表

頁0-0017

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バイブロハンマ施工による鋼矢板打込み S5500 陸上施工 電動式 60kW	10	枚・本			施工 第0-0007号表
土木一般世話役 [0.775]	0.204	人			R0010 0.204*1
とび工 [0.860]	0.408	人			R0270 0.204*2
普通作業員 [0.828]	0.204	人			R0030 0.204*1
バイブルハンマ杭打機運転 機-20 電動式・普通型 60kW	0.204	日			SK520 施工 第0-0008号表
諸雑費	19,000	%			#09
*** 合計 ***	10	枚・本			
*** 単位当たり ***	1	枚・本			
A=1 電動式 60kW B=1 打込み C=2 鋼矢板 II型 D=2 打込長又は引抜長 4m以下 E=1 継施工 無し					
G=3 所在地変更無 I=1 土木工事標準積算基準 II-5-②-21					

00000000000

福 島 県

金抜き

## 施工内訳表

頁0-0018

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バイブロハンマ杭打機運転 SK520 機-20 電動式・普通型 60kW	1	日			施工 第0-0008号表
運転手(特殊) [0.778]	1.000	人			R0120
軽油 ミニローリー(パトロール給油)	76.000	L			T0250
バイブルハンマ(単体) [電動式・普通型] 起振力461~480kN 60kW	1.310	供用日			MA727
クローラクレーン [油圧駆動式ワインチ] ラチスジブ・排ガス2014	1.310	供用日			MA563
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=5 電動式・普通型 60kW B=3 クローラクレーン(油) 50~55t 吊 C=1 運転労務数量 D=76 燃料消費量 E=1.31 機械損料(1) 数量					
F=1.31 機械損料(2) 数量 G=1 バイブルハンマ 排出ガス対策型 不使用 H=4 クレーン 排出ガス対策型(2014年規制)使用 I=3 所在地変更無 J=3 所在地変更無					

00000000000

福 島 県

金抜き

## 施工内訳表

頁0-0019

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バイブロハンマ施工による鋼矢板引抜き S5500 陸上施工 電動式 60kW	10	枚・本			施工 第0-0009号表
土木一般世話役 [0.775]	0.128	人			R0010 0.128*1
とび工 [0.860]	0.256	人			R0270 0.128*2
普通作業員 [0.828]	0.128	人			R0030 0.128*1
バイブルハンマ杭打機運転 機-20 電動式・普通型 60kW	0.128	日			SK520 施工 第0-0008号表
諸雑費	18.000	%			#09
*** 合計 ***	10	枚・本			
*** 単位当たり ***	1	枚・本			
A=1 電動式 60kW B=2 引抜き C=2 鋼矢板 II型 D=2 打込長又は引抜長 4m以下 E=1 継施工 無し					
G=3 所在地変更無 I=1 土木工事標準積算基準 II-5-②-21					

00000000000

福 島 県

金抜き

## 施工内訳表

頁0-0020

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
敷鉄板設置工 S5730	100	m <sup>2</sup>			施工 第0-0010号表
土木一般世話役 [0.775]	0.152	人			R0010
とび工 [0.860]	0.152	人			R0270
普通作業員 [0.828]	0.152	人			R0030
バックホウ運転(クレーン機能付) 機-28 加-3型 2.9t吊 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	0.152	日			SK728 施工 第0-0011号表
諸雑費	1.000	%			#09
*** 合計 ***	100	m <sup>2</sup>			
*** 単位当たり ***	1	m <sup>2</sup>			
A=1 設置 G=1 土木工事標準積算基準 II-5-10-2					

00000000000

福 島 県

金抜き

## 施工内訳表

頁0-0021

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ運転(クレーン機能付) SK728 機-28 加-ラ型 2.9t吊 山積0.8m3(平積0.6m3)	1	日			施工 第0-0011号表
運転手(特殊) [0.778]	1.000	人			R0120
軽油 ミニローリー(バトロール給油)	119.000	L			T0250
バックホウ [加-ラ型・クレーン機能付] 2.9t吊 山積0.8m3(平積0.6m3)	1.060	供用日			K9205
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 加-ラ型 2.9t吊 山積0.8m3(平積0.6m3) B=1 運転労務数量 C=119 燃料消費量 D=1.06 貨物数量 E=6 排出ガス対策型(2014年規制) 使用					

00000000000

福 島 県

金抜き

## 施工内訳表

頁0-0022

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
敷鉄板撤去工 S5730	100	m <sup>2</sup>			施工 第0-0012号表
土木一般世話役 [0.775]	0.143	人			R0010
とび工 [0.860]	0.143	人			R0270
普通作業員 [0.828]	0.143	人			R0030
バックホウ運転（クレーン機能付） 機一28 加-ラ型 2.9t吊 山積0.8m <sup>3</sup> （平積0.6m <sup>3</sup> ）	0.143	日			SK728 施工 第0-0011号表
諸雑費	1.000	%			#09
*** 合 計 ***	100	m <sup>2</sup>			
*** 単位当たり ***	1	m <sup>2</sup>			
A=2 C=1 撤去 土木工事標準積算基準 II-5-⑩-2					

00000000000

福 島 県

金抜き

## 施工内訳表

頁0-0023

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ運転工 SG080 作業時排水 発動発電機 ポンプ台数 1台	1	日			施工 第0-0013号表
特殊作業員 [0.769]	0.110	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.050	人			R0030
工事用水中モータポンプ(潜水ポンプ) 口径50mm 揚程5m	1.000	日			M4051
発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 3kVA	1.000	日			M4302
諸雑費	18.000	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 作業時排水 発動発電機 B=1 ポンプ台数 1台 C=1 下水道標準歩掛 第1巻 A-1-52					

00000000000

福 島 県

金抜き

## 施工内訳表

頁0-0024

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ据付撤去工 S5621	1	箇所			施工 第0-0014号表
土木一般世話役 [0.775]	0.500	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.100	人			R0020
普通作業員 [0.828]	2.000	人			R0030
バックホウ運転（クレーン機能付） 機-28 加-5型 2.9t吊 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	0.500	日			SK728 施工 第0-0015号表
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
B-1 土木工事標準積算基準 II-5-⑧-4					

000000000000

福 島 県

金抜き

### 施工內訛表

頁0-0025

0000000000

福島県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0026

標準単価 :

機械構成比 :

労務構成比 :

材料構成比 :

市場単価構成比 :

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>舗装版切断</b> SPD321 アスファルト舗装版 標準単価 : 700.44 機械構成比 :	15cm以下 15.05% 労務構成比 : 58.43% 材料構成比 : 26.52% 市場単価構成比 :		施工 第0-0016号表 1 m 0.00%	
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.24%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.96%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		10.88%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.828]		8.92%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 45 cm (18インチ)		22.39%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径18インチ (45 cm)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.81%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 7377 B=1 15cm以下 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 IV-3-③-1				

00000000000

福 島 県

金抜き

## 施工パッケージ内訳表

頁0-0027

標準単価 :

機械構成比 :

労務構成比 :

材料構成比 :

市場単価構成比 :

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>舗装版破碎</b> SPD311 アスファルト舗装版 標準単価 : 217.37 機械構成比 :	障害等なし 12.85%	労務構成比 : 81.24%	施工 第0-0017号表 1 材料構成比 : 5.91% 市場単価構成比 : 0.00%	m2
KQ049 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料		12.85%	TPKQ049 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		29.54%	土木一般世話役	TPR0010
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		27.52%	運転手 (特殊)	TPR0120
R0030 普通作業員 [0.828]		24.18%	普通作業員	TPR0030
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		5.91%	軽油 1.2号 パトロール給油	TPT0250
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 障害等なし C=1 騒音振動対策不要 D=1 15cm以下 E=1 積込作業あり				
G=1 全ての費用 H=1 土木工事標準積算基準 IV-3-②-2				

000000000000

福 島 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0028

標準単価：

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>殻運搬</b> SPA961 舗装版破碎 標準単価： 7.775 機械構成比：			施工 第0-0018号表 1	m <sup>3</sup> 0.00%
MA401 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		20.25%	TPMA401 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.793]		71.03%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (バトロール給油)		8.72%	TPT0250 軽油 1.2号 バトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=3 舗装版破碎 B=4 機械積込(小規模土工) C=1 DID区間なし D=28 12.0km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 II-2-25-1				

000000000000

福 島 県

金抜き

## 施工内訳表

頁0-0029

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材の運搬費 S0070 運搬質量 12t 運搬距離（片道）80km	1	式			施工 第0-0019号表
仮設材の運搬費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=80 運搬距離（片道距離：km） B=1 製品長 1.2m以内 C=12 運搬質量（t） D=0 運賃割増率（F1～F2） E=					
F=1 土木工事標準積算基準 I-2-②-16					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
仮設材等の積込み、取卸し費 S0072 積込み取卸し（往復分）	1	t			施工 第0-0020号表
仮設材の積込み、取卸し費	1.000	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=4 積込み取卸し（往復分） B=1 土木工事標準積算基準 I-2-②-17					

00000000000

福島県

金抜き

## 登録単価一覧表

頁0-0030

0000000000

福 島 畿

金抜書

## 特殊基礎単価一覧表

頁0~0031

0000000000

福島縣

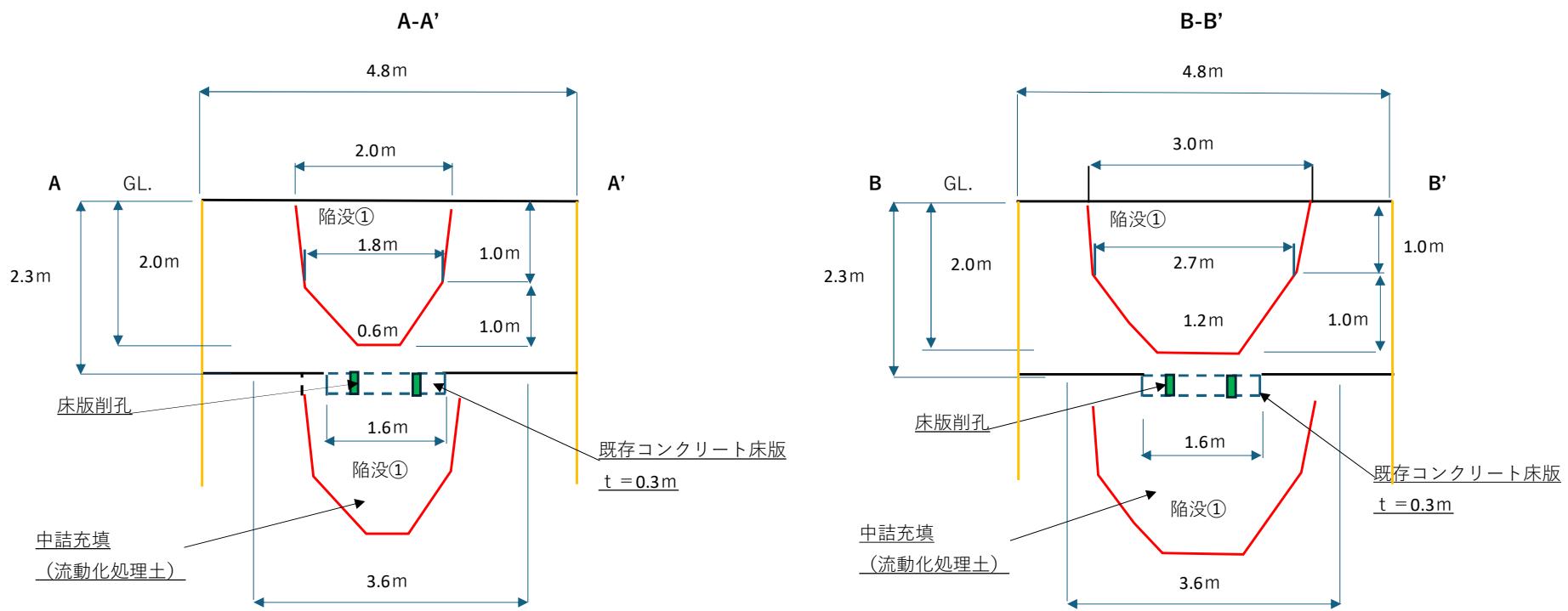
金板者



採用単価一覧

No.	単価コード	項目	規格	単位	数量	単価	備考
1	W0001	流動化処理土製造	一軸圧縮強度300kN/m <sup>2</sup> 以上	m <sup>3</sup>	7.910	10,000	
2	W0002	流動化処理土運搬	バキューム車	回	1	100,000	
3	W0003	流動化処理土製造諸経費		式	1	35,000	
4	T8302	砂		式	1	35,000	

## 復旧断面図



$$\text{掘削} : V = 4.8 \times 4.8 \times 2.3 - 7.91 = 45.082 \text{ m}^3$$

$$\text{陥没①} : V = 1.0/6 * (2.0 \times 2.7 + 3.0 \times 1.8 + 2 (2.0 \times 3.0 + 1.8 \times 2.7)) + 1.0/6 * (1.8 \times 1.2 + 2.7 \times 0.6 + 2 (1.8 \times 2.7 + 0.6 \times 1.2)) = 7.91 \text{ m}^3$$

$$\text{埋戻し} : V = 4.8 \times 4.8 \times 2.1 = 48.384 \text{ m}^3$$

$$\text{埋戻し (流用土)} : V = 45.082 \times 0.9 \text{ (変化率)} = 40.574 \text{ m}^3$$

$$\text{埋戻し (購入土)} : V = \text{埋戻し土量} - \text{As量} - \text{碎石量} - \text{流用土量}$$

$$V = 48.384 - ((4.8 \times 4.8 \times 0.05) + (4.8 \times 4.8 \times 0.15) + 40.574) = 3.20 \text{ m}^3 \times 1.11 \text{ (変化率)} = 3.55 \text{ m}^3$$

$$\text{土質改良} : V = \text{流用土} + \text{購入土} = 40.574 + 3.55 = 44.12 \text{ m}^3$$

床版削孔 :  $\phi 160 \times t 300$  N = 4か所

中詰充填 (流用土処理土)  $V = 7.91 \text{ m}^3$

### 凡例

バイブロハンマによる鋼矢板打込み II型 64本

### 埋戻し

表層工: 再生密粒度 As20  $t = 5 \text{ cm}$

路盤工: 再生クラッシャラン40  $t = 15 \text{ cm}$

下部部: 流用土 (セメント改良 50kg/m³)

購入土 (セメント改良 50kg/m³)

# 特記仕様書

## 第1章 工事概要

### 1－1 工事概要

工事名：特定鉱害復旧復旧（樅木沢地区）工事  
工事場所：南相馬市鹿島区浮田字樅木沢地内  
工期：契約日の翌日～令和8年3月17日  
工事内容：  
　土工 V=45m<sup>3</sup>  
　充填工 V=7m<sup>3</sup>  
　仮設工 N=1式

## 第2章 適用

### 2－1 適用

南相馬市（以下「甲」という。）が特定鉱害復旧復旧（樅木沢地区）工事（以下「工事」という。）の仕様については、福島県農林水産部発行の共通仕様書（農林水産土木工事編）及び福島県土木部発行の共通仕様書（土木工事編Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）（以下「共通仕様書」）等によるものとするが、工事遂行にあたり特に留意すべき事項について、本特記仕様書（以下「特記仕様書」という。）に示すものとする。なお、仕様書の適用にあたっては、「共通仕様書」に対して、「特記仕様書」を優先するものとする。

## 第3章 工事関係

### 3－1 事前作業他

- ① 施工計画書を基に監督員と綿密な打合わせを行い、十分把握した上で現場着工すること。
- ② 現場及び設計図書等を精査し、疑義がある場合は監督員と協議すること。
- ③ 地元住民、地権者等関係者に工事内容を説明し協力を求めること。

### 3－2 工程関係

- ① 工期は、雨天・休日等を見込み、契約日の翌日から、令和8年3月17日までとする。  
　なお、休日等には土・日曜日、祝日、夏期休暇及び年末休暇を含んでいる。
- ② 本工事の施工にあたり、施工内容、施工時期、作業時間、交通規制について下記の制限を遵守すること。  
　ただし、これにより難い場合については、監督員と協議すること。  
　（記）作業時間帯：AM8:30～PM5:00
- ③ 施工計画の工程に10%の差異が生じた場合は、工程表を見直し監督員と協議すること。

### 3－3 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるものほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備考
使用材料、充填確認	充填工	充填時	

### 3－4 公害関係

#### ① 排ガス対策型建設機械の使用

- ・工事に係る排對型建設機械は林野庁通達(H18.3.31)に基づく機種とする。
- ・排對型建設機械を使用し、施工現場において建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出すること。
- ・排對型建設機械を使用できない場合は、監督員と協議の上、指定外の建設機械を使用することができる。

#### 【対象機種例】

バックホウ 0.28m<sup>3</sup> 0.45m<sup>3</sup> 0.8m<sup>3</sup> バックホウ(クレーン機能 2.9t 付)0.45m<sup>3</sup> 0.80m<sup>3</sup> ブルドーザー 3t 11t 15t  
級 振動ローラ 3.0～4.0t 等

#### ② 粉塵・騒音・振動対策

- ・施工現場及び周辺道路等は、工事用車両等による土砂等の飛散物による粉塵が発生しないよう防止する対策を講じなければならない。
- ・所定の場所まで残土を運搬する際、沿道住民に迷惑をかけない対策を講じなければならない。
- ・路面に土砂飛散等による汚れが認められる場合早急に清掃し、原因を追究し対策を講じること。
- ・工事施工に伴い発生する騒音・振動・地盤沈下に起因する事業損失が懸念される場合は、発注者側と協議し、未然に防止する対策を講じなければならない。
- ・低騒音型建設機械を使用すること。
- ・低騒音型建設機械の使用状況写真を監督職員に提出すること。
- ・現場管理に留意し、不必要的騒音、振動を発生させないこと。
- ・建設機械等の整備不良による騒音、振動を発生させないように十分に整備点検を行うこと。
- ・作業待ち時間には建設機械等のエンジンを切ること。
- ・やむを得ず騒音・振動が発生する場合は、近隣住民に説明し了解を得ること。

#### ③ 現場、資材置き場における留意事項

- ・現場は常に整理整頓し、作業中はもちろん、作業終了時には資器材等の整理及び仮囲い等の防護措置を徹底すること。
- ・資材置き場を決定するときは、土地所有者の承諾を得た上、近隣住民にも説明し理解を得ること。
- ・資材置き場が決定したら、その位置等を監督職員に報告すること。
- ・資材置き場においては、資器材の整理整頓を徹底し、工事関係者以外の立ち入りを禁止するバリケード等を設置し、資材置き場内での第三者の事故等が無いよう徹底すること。
- ・現場周辺の環境対策のため、定期的に清掃を行うなど環境の美化に努めること。

### 3－5 安全対策関係

#### ① 安全訓練の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上の時間を割当て、下記項目から実施内容を選択し、安全訓練等を実施するものとする。

- ・安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- ・土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- ・本工事内容の周知徹底
- ・本工事における災害対策訓練
- ・本工事現場で予想される事故対策
- ・その他、安全、訓練等として必要な事項

#### ③ 安全計画に関する施工計画の作成

- ・施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し監督職員に提出するものとする。
- ・資材運搬路、運搬方法についても事前に計画し監督員と協議すること。

④ 安全訓練等の実施状況報告

- ・安全・訓練等の実施状況を工事月報等に記録し、報告するものとする。

④安全管理

- ・保安施設等配置図に基づき、現場の安全管理を徹底し、事故の無いよう施工すること。
- ・夜間時における保安施設は、特に堅固かつ安全なものとすること。
- ・毎日の作業前、後に保安施設の点検を行うこと。
- ・常に現場周辺を点検し道路の損傷等による危険箇所がある場合、適切な補修を行うこと。

⑤新型コロナウィルス感染症対策

- ・国土交通省 建設業における新型コロナウィルス感染予防対策ガイドラインを適用すること。

### 3－6 その他

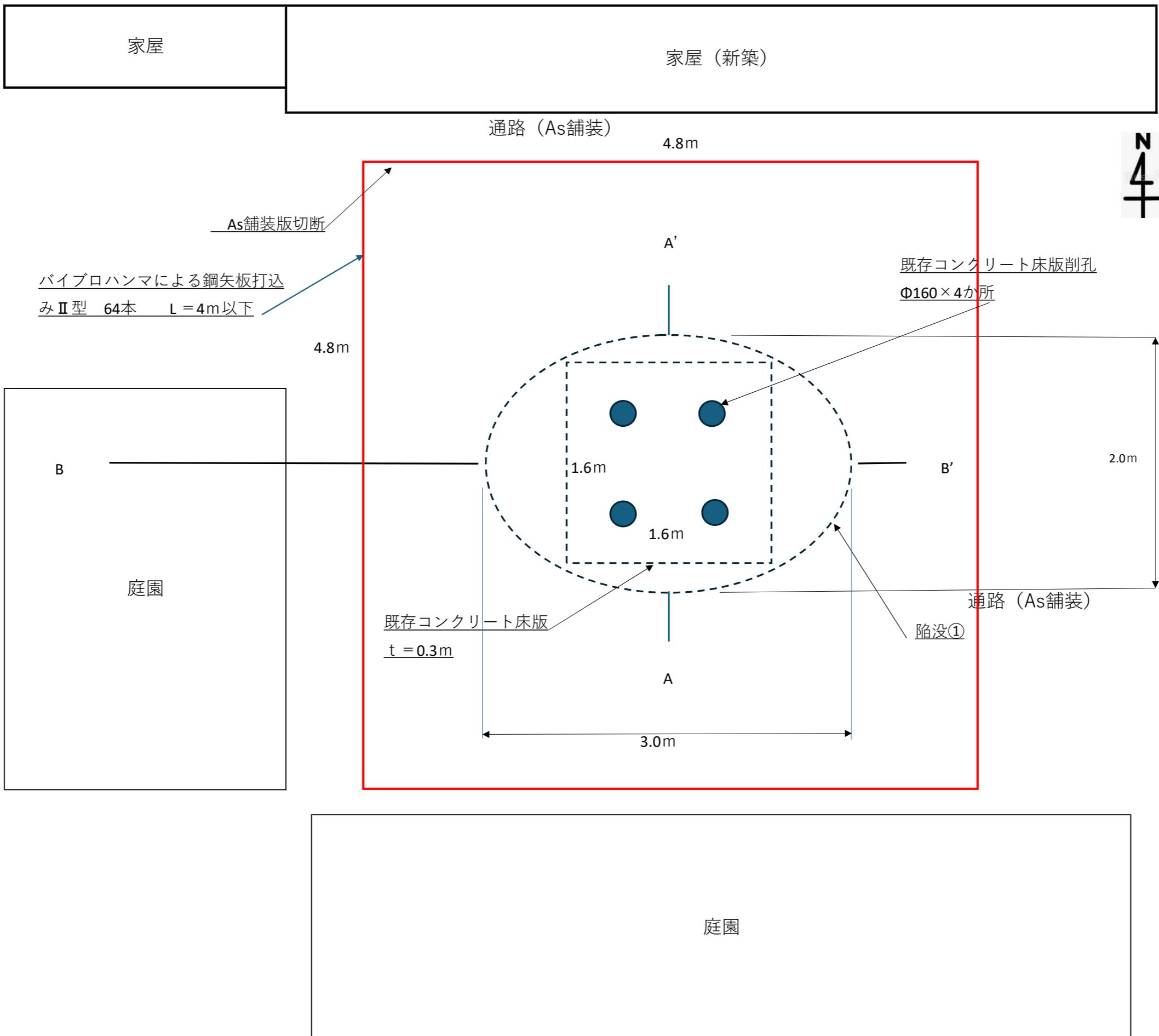
- ①環境配慮として、木製枠看板を使用すること。

## 第4章 その他

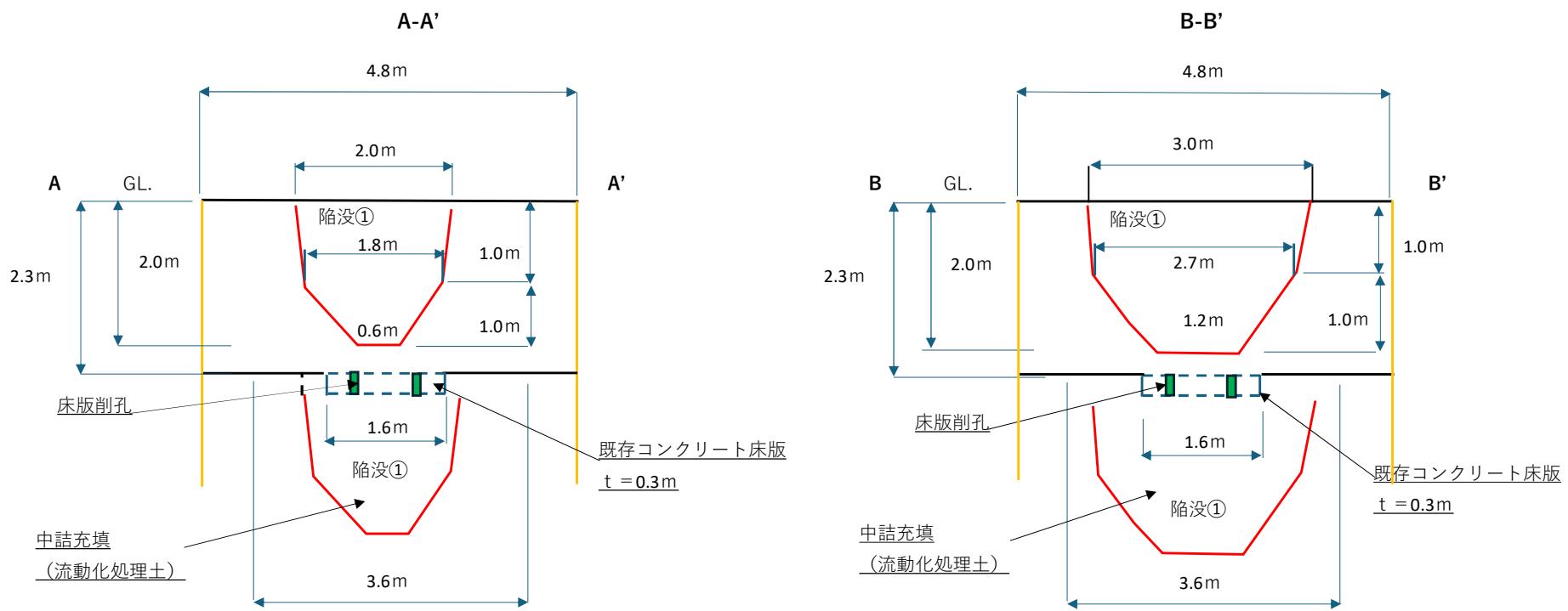
### 4－1 提出書類及び竣工書類

- ①福島県農林水産部発行の共通仕様書（農林水産土木工事編）及び福島県土木部発行の共通仕様書（土木工事編Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）に基づき作成し、提出期間内に速やかに提出すること。

平面図



## 復旧断面図



$$\text{掘削} : V = 4.8 \times 4.8 \times 2.3 - 7.91 = 45.082 \text{ m}^3$$

$$\text{陥没①} : V = 1.0/6 * (2.0 \times 2.7 + 3.0 \times 1.8 + 2 (2.0 \times 3.0 + 1.8 \times 2.7)) + 1.0/6 * (1.8 \times 1.2 + 2.7 \times 0.6 + 2 (1.8 \times 2.7 + 0.6 \times 1.2)) = 7.91 \text{ m}^3$$

$$\text{埋戻し} : V = 4.8 \times 4.8 \times 2.1 = 48.384 \text{ m}^3$$

$$\text{埋戻し (流用土)} : V = 45.082 \times 0.9 \text{ (変化率)} = 40.574 \text{ m}^3$$

$$\text{埋戻し (購入土)} : V = \text{埋戻し土量} - \text{As量} - \text{碎石量} - \text{流用土量}$$

$$V = 48.384 - ((4.8 \times 4.8 \times 0.05) + (4.8 \times 4.8 \times 0.15) + 40.574) = 3.20 \text{ m}^3 \times 1.11 \text{ (変化率)} = 3.55 \text{ m}^3$$

$$\text{土質改良} : V = \text{流用土} + \text{購入土} = 40.574 + 3.55 = 44.12 \text{ m}^3$$

床版削孔 :  $\phi 160 \times t 300$  N = 4か所

中詰充填 (流用土処理土)  $V = 7.91 \text{ m}^3$

### 凡例

バイブロハンマによる鋼矢板打込み II型 64本

### 埋戻し

表層工: 再生密粒度 As20  $t = 5 \text{ cm}$

路盤工: 再生クラッシャラン40  $t = 15 \text{ cm}$

下部部: 流用土 (セメント改良  $50\text{kg/m}^3$ )

購入土 (セメント改良  $50\text{kg/m}^3$ )